



プリントリリース

管理者ガイド

内容

概要.....	4
展開の準備状況チェックリスト.....	5
サーバーレスおよび SaaS 環境を構成する.....	7
Active Directory をセットアップする.....	7
Windows オペレーティングシステムにクライアントソフトウェアをインストールする.....	8
Mac オペレーティングシステムにクライアントソフトウェアをインストールする.....	16
プリンタのセキュリティ設定を構成する.....	23
プレミス環境を構成する.....	26
Lexmark 管理コンソールを構成する.....	26
Print Management Console を構成する.....	27
プリントリリースを設定する.....	34
アプリケーションの構成設定ページにアクセスする.....	34
アプリケーションアイコンをカスタマイズする.....	34
ジョブの場所を設定する.....	34
アプリケーションの設定.....	35
構成ファイルをエクスポートまたはインポートする.....	36
アプリケーションを使用する.....	37
印刷ジョブを送信する.....	37
コンピュータから印刷ジョブを送信する.....	37
Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルから印刷ジョブを送信する.....	37
印刷ジョブを管理する.....	38
Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルを使用する.....	39
Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスする.....	39
印刷キューを表示および管理する.....	39
印刷ジョブを削除する.....	40
印刷代理人を追加する.....	40
印刷の標準設定を変更する.....	40
数量制限について.....	41
ジョブ概要を表示する.....	41
個人用ジョブレポートを生成する.....	42

生成されたレポートの概要.....	42
問題に対処する.....	43
アプリケーションエラー.....	43
ライセンスエラー.....	44
サーバーレスのトラブルシューティング.....	44
プレミスのトラブルシューティング.....	47
SaaS のトラブルシューティング.....	48
通知.....	49
索引.....	50

概要

プリントリリースは、印刷ジョブを管理するエンタープライズクラスの印刷ソリューションです。このソリューションでは、以下の環境向けにプリントリリース機能を提供します。

- **サーバーレス** – Lexmark™ 印刷管理クライアント (LPMC) を使用するソリューションです。印刷サーバーを経由しなくとも、ユーザーがドキュメントをプリンタに安全に送信できます。印刷ジョブはプリントリリースで構成されたプリンタからリリースされるまで保存されます。
- **プレミス** – ユーザーがワークステーションから中央印刷キューにドキュメントを送信して印刷できるソリューションです。コンピュータや Web ユーティリティから送信された印刷ジョブは、削除または印刷されるまで保持されます。

このソリューションには、ソリューションの管理および監視を可能にする、Print Management Console と呼ばれる Web ベースのユーティリティが含まれています。ユーザーはこのコンソールから以下の作業を実施できます。

- プリントリリースキュー内にある現在の印刷ジョブを表示および管理します。
- ユーザー代理人を表示および管理します。あるユーザーの代わりに印刷ジョブをリリースできます。
- **サービス型ソフトウェア (SaaS)** – クラウドベースの印刷キューにドキュメントを送信できる、クラウドベースのソリューションです。コンピュータからドキュメントを直接印刷したり、コンピュータから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにファイルを追加したりすることもできます。

このソリューションは、以下の組込みソリューション フレームワーク アプリケーションと連携します。

- **プリントリリース**
- **カード認証** – カードリーダーを使用するプリンタへのアクセスを保護するアプリケーションです。ユーザーがカードをスワイプすると、以下のいずれかを使用して、そのユーザーの資格情報が認証されます。
 - マスタープリンタ
 - LDAP
 - Lexmark Document Distributor (LDD) サーバー
 - ID サービスプロバイダ

メモ: 詳細については、『カード認証管理者ガイド』を参照してください。

本書では、アプリケーションの設定、使用、トラブルシューティングを行う方法を説明します。

展開の準備状況チェックリスト

クライアントコンピュータに以下のものがインストールされていることを確認します。

- Microsoft® .NET Framework 4.0(フルバージョン)以降
- Lexmark ユニバーサルプリンタドライバ(UPD)v2.7 以降

サーバーレス Active Directory®

以下の項目について確認してください。

- アプリケーションの設定ページで **Active Directory** を選択している。
- LPMC がコンピュータにインストールされている。
- Active Directory の属性を把握している。

メモ: カード認証設定を構成する場合は、[LDAP]セクションの[ユーザー情報]フィールドで Active Directory 属性を指定してください。詳細については、『カード認証管理者ガイド』を参照してください。

- レルムについて把握している。
- サービスアカウントのユーザー名とパスワードを把握している。
- SSL ポート番号を把握している。
- HTTP ポート番号を把握している。

Kerberos を設定するには、以下の情報が必要です。

メモ: Active Directory を使用してジョブを取得するには、プリンタの Kerberos セキュリティを設定します。

- KDC アドレス
- KDC ポート
- レルム

サーバーレス Web サーバー

以下の項目について確認してください。

- アプリケーションの設定ページで **Web サーバー** を選択している。
- LPMC がコンピュータにインストールされている。
- Web サーバーのアドレスを把握している。
- SSL ポート番号を把握している。
- HTTP ポート番号を把握している。

プレミス環境

以下の項目について確認してください。

- アプリケーションの設定ページで **LDD Web サーバー**を選択している。
- LDD Web サーバーのアドレスを把握している。
- 以下の Web ベースユーティリティにアクセスできる。
 - Lexmark Management Console (LMC)
 - Print Management Console

メモ: プレミス環境のインストールおよび構成の詳細については、『Lexmark Document Distributor 管理者ガイド』を参照してください。

SaaS 環境

以下の項目について確認してください。

- アプリケーションの設定ページで **LPM SaaS リリース & 追跡サーバー**を選択している。
- コンピュータを使用して印刷ジョブを送信する場合は、LPMC がコンピュータにインストールされている。
- リリース & 追跡サーバーのアドレスを把握している。
- ID サービスのカード検証がカード認証で構成されている。

メモ: [ID サービス]設定の構成の詳細については、『カード認証管理者ガイド』を参照してください。

サーバーレスおよび SaaS 環境を構成する

Active Directory をセットアップする

Active Directory® は、ユーザーデータ、セキュリティ、クライアント、および印刷ジョブを管理するディレクトリサービスです。LPMC は、Active Directory を使用して、リリースする準備ができた印刷ジョブを持っている可能性が特定のユーザーが使用しているすべてのワークステーションを追跡します。

各ユーザーに設定されている属性またはプロパティのセットが、Active Directory サーバーに保持されます。この情報は、ドメインコントローラサーバでアクセスできます。

メモ: Active Directory およびそのデータレプリケーションのセットアップのために、プリンタ上で利用できるジョブのリリースに遅延が発生する場合があります。この遅延を最小限に押さえるには、レプリケーション間隔を短くします。

Active Directory に特定のユーザーの属性にアクセスする権限を与える

- 1 Active Directory サーバーで、オブジェクト制御の委任ウィザードを開きます。
- 2 属性にアクセスする必要があるユーザーのグループを追加し、[OK] > [次へ]をクリックします。
- 3 委任するカスタムタスクを作成し、リストから[ユーザー オブジェクト]を選択します。
- 4 [プロパティ固有]、[otherLoginWorkstations の読み取り]、および[otherLoginWorkstations の書き込み]を選択します。
- 5 画面の指示に従います。

Active Directory スキーマ用のユーザー属性を作成する

Active Directory は、一部のドメインユーザー情報を保管できるように設計されています。ユーザー名、説明、最後にログインした時間などのいくつかの情報はシステムで使用される場合があります。

管理者は、現在のネットワーク構成で使用されていない属性を確認する必要があります。

- 1 レジストリキーを開き、キーを編集して属性を操作できるようにします。
メモ: レジストリキーが存在しない場合は、キーを手動で作成します。
- 2 Active Directory スキーマスナップインをインストールします。
- 3 コンソールにスキーマを追加します。
 - a コマンドプロンプトで、「mmc」と入力します。
 - b スナップインのリストから[Active Directory スキーマ]を選択して追加します。
- 4 Active Directory スキーママネージャスナップインを開きます。
- 5 [属性]を右クリックし、[属性の作成]をクリックします。
メモ: この設定が使用できない場合は、サーバーを再起動します。
- 6 変更を確認します。
- 7 [新しい属性の作成]ダイアログボックスで必要な情報を入力します。
- 8 新しい属性を適切なスキーマクラスに追加します。
 - a [クラス]を展開します。
 - b [ユーザー]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

- c [属性]タブで[追加]をクリックします。
- d リストから新しい属性を選択します。
- e 変更を適用します。

Windows オペレーティングシステムにクライアントソフトウェアをインストールする

開始する前に、次の点を確認してください。

- Microsoft .NET Framework 4.0(フルバージョン)以降がインストールされている。
- 推奨されるプリントドライバがインストールされている。
- Active Directory が実行されている。
- LPMC をインストールしたコンピュータが Active Directory ドメインに登録されている。
- 管理者が Active Directory ドメインにログインし、ドメインにアクセスするための管理権限を付与している。

Lexmark 印刷管理クライアントをインストールする

Lexmark 印刷管理クライアント(LPMC)は、ドメイン内のクライアントシステムに展開され、印刷ジョブの安全なリリースを実行するソフトウェアパッケージです。LPMC は、印刷スプーラから印刷ジョブをキャプチャし、必要な場合はそれらを暗号化します。印刷ジョブはプリントリリース対応のプリンタからリリースされるまで、コンピュータに保存されます。

- 1 LPMC のインストールパッケージを取得し、ローカルドライブに一時的に保存します。
- 2 インストールパッケージを保存したフォルダに設定ファイルをコピーし、必要な場合は変更します。詳細については、[「Windows オペレーティングシステム用の設定ファイルを理解する」](#)、9 ページ を参照してください。
- 3 次のいずれかの手順を実行してパッケージをインストールします。
 - パッケージを保存したフォルダで、MSI パッケージをダブルクリックします。
 - コマンドプロンプトで「`msiexec /i lpmc.msi`」と入力します。
- 4 画面の指示に従います。
- 5 インストールが完了したら、次の手順を実行します。

LPMC がインストールされているかどうかを確認する

- a オペレーティングシステムの[プログラムと機能]フォルダに移動します
- b Lexmark 印刷管理クライアントを探します。

必要なサービスがインストールされて実行されているかどうかを確認します。

- a コマンドプロンプトで、「`services.msc`」と入力します。
- b 以下のサービスが実行されているかどうかを確認します。
 - Lexmark プリントキャプチャサービス
 - Lexmark プリントリリースサービス

- 6 推奨されるプリントドライバを LPMC プリンタポートに割り当てます。詳細については、[「プリントドライバをインストールして印刷キューを作成する」](#)、15 ページ を参照するか、システム管理者に問い合わせてください。

メモ:

- 実行可能ファイルは、Program Files フォルダに保存されます。
- 設定ファイル、ログファイル、および一時的に削除されたジョブの追跡レポートは、「%allusersprofile%LPMC」フォルダに保存されます。
- LPMC プリンタポート 9167 と IP アドレス 127.0.0.1 がデフォルトで作成されます。管理者は、インストールの前にポート番号を変更できます。

SSL 証明書を使用する

LPMC は、HTTPS プロトコルを使用して接続を受け入れて確立するセキュリティで保護されたサーバーとして機能します。LPMC を使用すると、通常のネットワークに接続されるデータを暗号化することができます。SSL 接続を受け入れるには、LPMC が、証明書をセキュリティで保護してサーバーの ID を確認し、暗号化の基盤として機能する必要があります。

各証明書は証明書を識別するサブジェクトを指定します。例えば、LPMC が実行されているワークステーションに **John-PCXP** などの「workstation-name」が定義されていたり、**localhost** などのより汎用的な名前が定義されていたりする場合があります。予約名 **localhost** は、127.0.0.1 ネットワークアドレスのエイリアスです。

証明書が作成されると、証明書がワークステーションに追加され、そのマシンにログインするすべてのユーザーが使用できるようになります。また、LPMC は証明書を適切なネットワーク接続にバインドし、構成ファイルで定義されたポートを使用します。

構成されたポートがインストール後に変更された場合、LPMC は、SSL 接続を確立できません。SSL を介して再接続するには、LPMC を再インストールするか、証明書を新しいポート番号に手動で再バインドします。

メモ: 証明書の作成およびバインドは、LPMC のインストール処理中に実行されます。

Windows オペレーティングシステム用の設定ファイルを理解する

ロガー

設定	標準設定	説明
LogFilePath	c: \ProgramData\LPMC \lpmc.log	ログファイルが保存されるパス。
LoggingEnabled	false	true に設定した場合、LPMC イベントはロギングされます。

LPMServerlessADSettings

CaptureSettings

設定	標準設定	説明
LoopbackPort	9167	キャプチャサービスとの受信印刷ジョブの通信に使用するポート。別のポートを使用するには、印刷キューが使用するポートを変更します。
PrintJobFileNameFormat	%d_%i.prn	キャプチャサービスが印刷ジョブを保存するために使用するファイル名の形式。%d は、ジョブが印刷される時間で、%i は現在のティック数です。 ファイル名の一部として次の値を使用できます。 %u - ユーザー名 %pd - 印刷ドライバ名 %pq - 印刷キュー名

ClientSettings

設定	標準設定	説明
PrintAndKeepLifespan	48	LPMC が印刷後にジョブを削除するまでの時間(時間単位)。
UnprintedJobsLifespan	48	LPMC が印刷キューでリリースされないジョブを削除するまでの時間(時間単位)。

ReleaseSettings

設定	標準設定	説明
EsfListenerPort	9443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。

ServerSettings

設定	標準設定	説明
ActiveDirectoryUserProperty	otherLoginWorkstations	LPMC が、データを保存および取得するために使用する Active Directory 属性。
ServiceAccountUserName	情報なし	サービスアカウントとして指定されたユーザー名。管理者が展開の前にこの名前を設定します。

ADWriteSettings

設定	標準設定	説明
ADWriteOption	AtPrintTime	<p>LPMC がワークステーション IP アドレスを Active Directory サーバーにいつ書き込むかを設定します。</p> <p>以下のいずれかの値を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AtStartup—LPMC が起動したときのみワークステーション IP アドレスを書き込みます。ワークステーション IP アドレスは、ワークステーションがシャットダウンまたは低電力状態になると、削除されます。 • AtPrintTime—ジョブを印刷するときのみワークステーション IP アドレスを書き込みます。ワークステーション IP アドレスは、ワークステーションで保留中のジョブがない場合、ワークステーションがシャットダウンする場合、またはワークステーションが低電力状態の場合、削除されます。LPMC が起動するときに保存済みのジョブを削除する場合、ワークステーション IP アドレスを直ちに書き込みます。 • AtStartupAndPrintTime—LPMC が起動してジョブを印刷するときに、ワークステーション IP アドレスを書き込みます。ワークステーションで保留中のジョブがない場合は、削除されません。ワークステーションがシャットダウンする場合または低電力状態の場合、削除されます。

LPMServerlessSettings

CaptureSettings

設定	標準設定	説明
LoopbackPort	9167	キャプチャサービスとの受信印刷ジョブの通信に使用するポート。別のポートを使用するには、印刷キューが使用するポートを変更します。
PrintJobFileNameFormat	%d_%i.prn	キャプチャサービスが印刷ジョブを保存するために使用するファイル名の形式。%d は、ジョブが印刷される時間で、%i は現在のティック数です。 ファイル名の一部として次の値を使用できます。 %u - ユーザー名 %pd - 印刷ドライバ名 %pq - 印刷キュー名

ClientSettings

設定	標準設定	説明
PrintAndKeepLifespan	48	LPMC が印刷後にジョブを削除するまでの時間(時間単位)。
UnprintedJobsLifespan	48	LPMC が印刷キューでリリースされないジョブを削除するまでの時間(時間単位)。

ReleaseSettings

設定	標準設定	説明
EsfListenerPort	9443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。

ServerSettings

設定	標準設定	説明
ServerIP	api.iss.lexmark.com/lpm-gateway	リリース & 追跡サーバーのアドレス。
ServerPort	443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。

ServerAPISettings

設定	標準設定	説明
APIVersion	2.0	使用するアプリケーションプログラムインターフェイス(API)のバージョン。
IDPServerSettings ServerIP ServerPort	idp.iss.lexmark.com 443	ユーザーの認証に使用する ID サービスプロバイダのアドレス。 ジョブがプリンタからリリースされるポート。

LPMServerSettings

CaptureSettings

設定	標準設定	説明
LoopbackPort	9168	キャプチャサービスとの受信印刷ジョブの通信に使用するポート。別のポートを使用するには、印刷キューが使用するポートを変更します。
PrintJobFileNameFormat	%d_%i.prn	キャプチャサービスが印刷ジョブを保存するために使用するファイル名の形式。%d は、ジョブが印刷される時間で、%i は現在のティック数です。 ファイル名の一部として次の値を使用できます。 %u - ユーザー名 %pd - 印刷ドライバ名 %pq - 印刷キュー名

ServerSettings

設定	標準設定	説明
ServerIP	lsp.lexmark.com/lexmark	SaaS リリース & 追跡サーバーのアドレス。 「https://lsp.lexmark.com/<companyID>」と入力します。 <companyID> は、会社に割り当てられた固有の名前または ID です。
ServerPort	443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。

IDPServerSettings

設定	標準設定	説明
ServerIP	idp.iss.lexmark.com	ユーザーの認証に使用する ID サービスプロバイダのアドレス。
ServerPort	443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。

DeleteJobTrackerSettings

設定	標準設定	説明
TrackDeletedJob	true	false に設定された場合、削除済みのジョブは追跡されません。
SendImmediately	true	false に設定された場合、LPMC は IntervalMode を使用して削除済みのジョブのデータを送信します。
IntervalMode	Daily	指定された間隔の後に削除済みジョブのデータを送信します。間隔は、分、時間、日、週の単位で指定できます。IntervalMode が有効になっている場合、削除済みのジョブのデータは c:\ProgramData\LPMC\DJTReport.xml に一時的に保存されます。設定された間隔が経過すると、削除済みのジョブのデータはレポートサーバーに送信され、DJTReport.xml ファイルが削除されます。

設定	標準設定	説明
SendInterval Minutes Hourly Daily 毎週 曜日 Hour	1200	削除済みのジョブのデータをレポートサーバーに送信するタイミングを指定します。 Minutes —1 以上の任意の値を設定します。 Daily —HHMM 形式で値(時間)を設定します。設定した時間に基づいて、毎日定期的に実行されます。 Daily 設定の複数のインスタンスを設定できます。この設定により、1 日複数回実行するように、削除済みのジョブトラッカーがトリガーされます。 Weekly — Day と Hour の値で構成されています。 Day —1 ~ 7 の任意の値を設定します。1 は日曜日、7 は土曜日です。 Hour —HHMM 形式で値を設定します。指定した時刻に基づいて、定期的に実行されます。 Day および Hour の設定には複数のインスタンスがあります。
ServerSettings ServerIP ServerPort ServerSSL	10.194.107.109 9780 false	削除済みのジョブのデータが保存されるレポートサーバーに関する情報が含まれています。
OtherSettings SiteName	情報なし	削除済みのジョブのデータに関する詳細情報。 SiteName —ジョブの送信元のサイト名。

LateBindingSettings

設定	標準設定	説明
LateBindingEnabled	false	true に設定された場合、[カラー]、[印刷面]、[ホチキスジョブ]、[ホールパンチ]、[印刷部数]の各設定をプリンタの操作パネルで変更することができます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> LPMC のバージョンによっては、この設定は利用できない場合があります。詳細については、「Readme」ファイルを参照してください。 この設定は、サーバーレス環境から送信されたジョブにのみ適用されます。 この設定を使用するには、プリンタにフィニッシャを取り付けます。

DeleteEmptyUserFolders

設定	標準設定	説明
DeleteEmptyUserFolders	false	true に設定された場合、印刷ジョブがない[ユーザー]フォルダと有効なユーザートークンが自動的に削除されます。

Windows オペレーティングシステム用の設定ファイルのサンプル

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<Configuration xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
  <Logger>
    <LogFilePath>C:\ProgramData\LPMC\lpmc.log</LogFilePath>
    <LoggingEnabled>>false</LoggingEnabled>
  </Logger>
  <LPMServerlessADSettings>
    <CaptureSettings>
      <LoopbackPort>9167</LoopbackPort>
      <PrintJobFileNameFormat>%d_%i.prn</PrintJobFileNameFormat>
    </CaptureSettings>
    <ClientSettings>
```

```
<PrintAndKeepLifespan>48</PrintAndKeepLifespan>
<UnprintedJobsLifespan>48</UnprintedJobsLifespan>
</ClientSettings>
<ReleaseSettings>
  <EsfListenerPort>9443</EsfListenerPort>
</ReleaseSettings>
<ServerSettings>
  <ActiveDirectoryUserProperty>otherLoginWorkstations</ActiveDirectoryUserProperty>
  <ServiceAccountUsername></ServiceAccountUsername>
</ServerSettings>
<ADWriteSettings>
  <ADWriteOption>AtPrintTime</ADWriteOption>
</ADWriteSettings>
</LPMServerlessADSettings>
<LPMServerlessSettings>
  <CaptureSettings>
    <LoopbackPort>9167</LoopbackPort>
    <PrintJobFileNameFormat>%d_%i.prn</PrintJobFileNameFormat>
  </CaptureSettings>
  <ClientSettings>
    <PrintAndKeepLifespan>48</PrintAndKeepLifespan>
    <UnprintedJobsLifespan>48</UnprintedJobsLifespan>
  </ClientSettings>
  <ReleaseSettings>
    <EsfListenerPort>9443</EsfListenerPort>
  </ReleaseSettings>
  <ServerSettings>
    <ServerIP>api.iss.lexmark.com/lpm-gateway</ServerIP>
    <ServerPort>443</ServerPort>
  </ServerSettings>
  <ServerAPISettings>
    <APIVersion>2.0</APIVersion>
    <IDPServerSettings>
      <ServerIP>idp.iss.lexmark.com</ServerIP>
      <ServerPort>443</ServerPort>
    </IDPServerSettings>
  </ServerAPISettings>
</LPMServerlessSettings>
<LPMServerSettings>
  <CaptureSettings>
    <LoopbackPort>9168</LoopbackPort>
    <PrintJobFileNameFormat>%d_%i.prn</PrintJobFileNameFormat>
  </CaptureSettings>
  <ClientSettings>
  </ClientSettings>
  <ServerSettings>
    <ServerIP>lsp.lexmark.com/lexmark</ServerIP>
    <ServerPort>443</ServerPort>
  </ServerSettings>
  <IDPServerSettings>
    <ServerIP>idp.iss.lexmark.com</ServerIP>
    <ServerPort>443</ServerPort>
  </IDPServerSettings>
</LPMServerSettings>
<DeleteJobTrackerSettings>
  <TrackDeletedJob>true</TrackDeletedJob>
  <SendImmediately>true</SendImmediately>
  <IntervalMode>minutes</IntervalMode>
  <SendInterval>
    <Minutes>5</Minutes>
    <Daily>1200</Daily>
```

```
<Daily>2300</Daily>
<Weekly>
  <Day>2</Day>
  <Day>3</Day>
  <Day>4</Day>
  <Day>5</Day>
  <Day>6</Day>
  <Hour>1000</Hour>
  <Hour>1500</Hour>
</Weekly>
</SendInterval>
<ServerSettings>
  <ServerIP>0.0.0.0</ServerIP>
  <ServerPort>9780</ServerPort>
  <ServerSSL>>false</ServerSSL>
</ServerSettings>
<OtherSettings>
  <SiteName></SiteName>
</OtherSettings>
</DeleteJobTrackerSettings>
<LateBindingSettings>
  <LateBindingEnabled>>false</LateBindingEnabled>
</LateBindingSettings>
<DeleteEmptyUserFolders>>false</DeleteEmptyUserFolders>
</Configuration>
```

プリントドライバをインストールして印刷キューを作成する

お使いのオペレーティングシステムに適した PCL® XL または UPD をダウンロードしたことを確認してください。

- 1 コンピュータでインストーラファイルを実行します。
 - a [展開]を選択し、[インストールソフトウェアを開始します]チェックボックスをオフにします。
 - b UPD ファイルへのパスをコピーします。

メモ: パスを変更する場合は、UPD ファイルを保存するフォルダを参照して指定します。
 - c [インストール]をクリックし、画面に表示される手順に従います。
- 2 プリンタフォルダを開き、[プリンタの追加]をクリックします。
- 3 [プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスで、[既存のポートを使用]を選択します。
- 4 リストから LPMC プリンタポートを選択し、[次へ]をクリックします。
- 5 ソフトウェアのインストールを求められた場合は、[ディスク使用]を選択します。
- 6 [製造元のファイルのコピー元]フィールドに、UPD ファイルの場所を貼り付けるか、またはドライバの INF ファイルを参照して指定します。
- 7 [OK] > [次へ]をクリックします。
- 8 リストから [Lexmark ユニバーサル v2 PS3]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 9 印刷キューにわかりやすい名前を入力します。新しい印刷キューを標準設定として使用するかどうかを選択し、プリンタを共有します。
- 10 [終了]をクリックします。

Mac オペレーティングシステムにクライアントソフトウェアをインストールする

Active Directory ドメインに接続する

Active Directory ドメインを DNS サーバーリストに追加する

- 1 コンピュータから[システム環境設定]に移動し、[ネットワーク]をクリックします。
- 2 ネットワークを選択して[詳細設定]をクリックします。
- 3 [DNS]をクリックし、[DNS サーバー]セクションから[+]をクリックして、Active Directory ドメインの IP アドレスを入力します。
- 4 [ドメインの検索]セクションで[+]をクリックして、Active Directory ドメイン名を入力します。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 [ネットワーク]ウィンドウから[適用]をクリックします。

Active Directory ドメインに接続

- 1 コンピュータから[システム環境設定]に移動し、[ユーザーとグループ]をクリックします。
メモ: 設定が使用できない場合は、ロックボタンをクリックします。設定のロックを解除するには、管理者アカウントが必要です。
- 2 [ログイン オプション]をクリックして、[ネットワーク アカウント サーバー]セクションから[参加]をクリックします。
- 3 設定を構成します。
 - [サーバー]—Active Directory ドメインコントローラのアドレス
 - [クライアントコンピュータ ID]—クライアントコンピュータの名前
 - [AD 管理者ユーザー]—Active Directory ドメインに関連付けられているアカウント名
 - [AD 管理者パスワード]—Active Directory ドメインに関連付けられているアカウントのパスワード
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 コンピュータからログアウトして、Active Directory ドメインに関連付けられているユーザー ID とパスワードを使って、もう一度ログインします。

プリントドライバをインストールする

メモ: LPMC をインストールする前に、Lexmark Mac UPD をインストールすることをお勧めします。

- 1 コンピュータでインストーラファイルを実行します。
- 2 [展開]を選択し、[インストールソフトウェアを開始します]チェックボックスをオフにします。
- 3 UPD ファイルへのパスをコピーします。
メモ: パスを変更する場合は、UPD ファイルを保存するフォルダを参照して指定します。
- 4 [インストール]をクリックし、コンピュータ画面の指示に従います。

Lexmark 印刷管理クライアントをインストールする

Mac の場合、LPMC は単一の PKG ファイルとして配布されます。

- 1 インストールパッケージを保存したフォルダに設定ファイルをコピーし、必要な場合は変更します。詳細については、[「Mac オペレーティングシステムの設定ファイルを理解する」](#)、17 ページ を参照してください。
- 2 パッケージをインストールします。次のいずれかを実行します。
 - PKG ファイルをダブルクリックします。
 - 端末で `install.sh` を実行します。
- 3 画面の指示に従います。
- 4 インストールが完了したら、アクティビティモニタから、必要なサービスが実行されていることを確認します。
 - **LPMCapture**—Lexmark プリントキャプチャサービス
 - **LPMRelease**—Lexmark プリントリリースサービス
 - **LPMDeleteJobTracker**—LPM 削除済みジョブトラッカーサービス
 - **LPMApp**—LPM ユーザーレベルのバックグラウンドアプリケーション

メモ: インストール後、実行可能ファイル、configuration.xml ファイル、SSL 証明書は、「/Library/Lexmark/LPMC」フォルダに保存されます。ログファイルはデフォルトで、「/var/tmp」に `lpmc.log` として保存されます。

Mac オペレーティングシステムの設定ファイルを理解する

ロガー

設定	標準設定	説明
<code>LogFilePath</code>	<code>/var/tmp/lpmc.log</code>	ログファイルが保存されるパス。
<code>LoggingEnabled</code>	<code>false</code>	<ul style="list-style-type: none"> • <code>true</code> に設定した場合、LPMC イベントはロギングされます。 • <code>debug</code> に設定した場合、より多くの情報がロギングされます。

LPMServerlessADSettings

CaptureSettings

設定	標準設定	説明
<code>LoopbackPort</code>	<code>9167</code>	キャプチャサービスとの受信印刷ジョブの通信に使用するポート。別のポートを使用するには、印刷キューが使用するポートを変更します。
<code>PrintJobFileNameFormat</code>	<code>%d_%i.prn</code>	<p>キャプチャサービスが印刷ジョブを保存するために使用するファイル名の形式。<code>%d</code> は、ジョブが印刷される時間で、<code>%i</code> は現在のティック数です。</p> <p>ファイル名の一部として次の値を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <code>%u</code> — ユーザー名 <code>%pd</code> — 印刷ドライバ名 <code>%pq</code> — 印刷キュー名

ClientSettings

設定	標準設定	説明
PrintAndKeepLifespan	48	LPMC が印刷後にジョブを削除するまでの時間(時間単位)。
UnprintedJobsLifespan	48	LPMC が印刷キューでリリースされないジョブを削除するまでの時間(時間単位)。

ReleaseSettings

設定	標準設定	説明
EsfListenerPort	9443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。
UseSSL	true	プリントリリースとの通信で SSL を使用するかどうかを決定します。 ServerPort を 80 に設定してからこの値を false に設定すると、非 SSL 接続が確立します。

ServerSettings

設定	標準設定	説明
ActiveDirectoryUserProperty	otherLoginWorkstations	LPMC が、データを保存および取得するために使用する Active Directory 属性。 otherLoginWorkstations が使用できない場合、 customAttributeName を使って、カスタムユーザー属性を使用します。
ServiceAccountUserName	情報なし	サービスアカウントとして指定されたユーザー名。管理者が展開の前にこの名前を設定します。

ADWriteSettings

設定	標準設定	説明
ADWriteOption	AtPrintTime	LPMC がワークステーション IP アドレスを Active Directory サーバーにいつ書き込むかを設定します。 以下のいずれかの値を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • AtStartup—LPMC が起動したときのみワークステーション IP アドレスを書き込みます。ワークステーション IP アドレスは、ワークステーションがシャットダウンまたは低電力状態になると、削除されます。 • AtPrintTime—ジョブを印刷するときのみワークステーション IP アドレスを書き込みます。ワークステーション IP アドレスは、ワークステーションで保留中のジョブがない場合、ワークステーションがシャットダウンする場合、またはワークステーションが低電力状態の場合、削除されます。LPMC が起動するときに保存済みのジョブを削除する場合、ワークステーション IP アドレスを直ちに書き込みます。 • AtStartupAndPrintTime—LPMC が起動してジョブを印刷するときに、ワークステーション IP アドレスを書き込みます。ワークステーションで保留中のジョブがない場合は、削除されません。ワークステーションがシャットダウンする場合または低電力状態の場合、削除されます。

LPMServerlessSettings

CaptureSettings

設定	標準設定	説明
LoopbackPort	9168	キャプチャサービスとの受信印刷ジョブの通信に使用するポート。別のポートを使用するには、印刷キューが使用するポートを変更します。
PrintJobFileNameFormat	%d_%i.ps	キャプチャサービスが印刷ジョブを保存するために使用するファイル名の形式。%d は、ジョブが印刷される時間で、%i は現在のティック数です。 ファイル名の一部として次の値を使用できます。 %u - ユーザー名 %pd - 印刷ドライバ名 %pq - 印刷キュー名

ClientSettings

設定	標準設定	説明
PrintAndKeepLifespan	48	LPMC が印刷後にジョブを削除するまでの時間(時間単位)。
UnprintedJobsLifespan	48	LPMC が印刷キューでリリースされないジョブを削除するまでの時間(時間単位)。

ReleaseSettings

設定	標準設定	説明
EsfListenerPort	443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。
UseSSL	true	プリントリリースとの通信で SSL を使用するかどうかを決定します。

ServerSettings

設定	標準設定	説明
ServerIP	api.iss.lexmark.com/lpm-gateway	リリース & 追跡サーバーのアドレス。
ServerPort	443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。
UseSSL	true	プリントリリースとの通信で SSL を使用するかどうかを決定します。

ServerAPISettings

設定	標準設定	説明
APIVersion	2.0	使用するアプリケーションプログラムインターフェイス(API)のバージョン。
IDPServerSettings ServerIP ServerPort	idp.iss.lexmark.com 443	ユーザーの認証に使用する ID サービスプロバイダのアドレス。 ジョブがプリンタからリリースされるポート。
UseSSL	true	プリントリリースとの通信で SSL を使用するかどうかを決定します。

LPMServerSettings

CaptureSettings

設定	標準設定	説明
LoopbackPort	9168	キャプチャサービスとの受信印刷ジョブの通信に使用するポート。別のポートを使用するには、印刷キューが使用するポートを変更します。
PrintJobFileNameFormat	%d_%i.prn	キャプチャサービスが印刷ジョブを保存するために使用するファイル名の形式。%d は、ジョブが印刷される時間で、%i は現在のティック数です。ファイル名の一部として次の値を使用できます。 %u – ユーザー名 %pd – 印刷ドライバ名 %pq – 印刷キュー名

ServerSettings

設定	標準設定	説明
ServerIP	lsp.lexmark.com/lexmark	SaaS リリース & 追跡サーバーのアドレス。 「https://lsp.lexmark.com/<companyID>」と入力します。 <companyID> は、会社に割り当てられた固有の名前または ID です。
ServerPort	443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。

IDPServerSettings

設定	標準設定	説明
ServerIP	idp.iss.lexmark.com	ユーザーの認証に使用する ID サービスプロバイダのアドレス。
ServerPort	443	ジョブがプリンタからリリースされるポート。

DeleteJobTrackerSettings

設定	標準設定	説明
TrackDeletedJob	true	false に設定された場合、削除済みのジョブは追跡されません。
SendImmediately	true	false に設定された場合、LPMC は IntervalMode を使用して削除済みのジョブのデータを送信します。
IntervalMode	分	指定された間隔の後に削除済みジョブのデータを送信します。間隔は、分、時間、日、週の単位で指定できます。
SendInterval Minutes Daily 毎週 曜日 Hour	1200	削除済みのジョブのデータをレポートサーバーに送信するタイミングを指定します。 Minutes – 1 以上の任意の値を設定します。 Daily – HHMM 形式で値(時間)を設定します。設定した時間に基づいて、毎日定期的に行われます。Daily 設定の複数のインスタンスを設定できます。この設定により、1 日複数回実行するように、削除済みのジョブトラッカーがトリガーされます。 Weekly – Day と Hour の値で構成されています。 Day – 1 ~ 7 の任意の値を設定します。1 は日曜日、7 は土曜日です。 Hour – HHMM 形式で値を設定します。指定した時刻に基づいて、定期的に行われます。 Day および Hour の設定には複数のインスタンスがあります。

設定	標準設定	説明
ServerSettings ServerIP ServerPort ServerSSL	0.0.0.0 9780 false	削除済みのジョブのデータが保存されるレポートサーバーに関する情報が含まれています。
OtherSettings SiteName	情報なし	削除済みのジョブのデータに関する詳細情報。 SiteName —ジョブの送信元のサイト名。

Mac オペレーティングシステムの設定ファイル例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<Configuration xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
  <Logger>
    <LogFilePath>/var/tmp/lpmc.log</LogFilePath>
    <LoggingEnabled>>false</LoggingEnabled>
  </Logger>
  <LPMServerlessADSettings>
    <CaptureSettings>
      <LoopbackPort>9167</LoopbackPort>
      <PrintJobFileNameFormat>%d_%i.ps</PrintJobFileNameFormat>
    </CaptureSettings>
    <ClientSettings>
      <PrintAndKeepLifespan>48</PrintAndKeepLifespan>
      <UnprintedJobsLifespan>48</UnprintedJobsLifespan>
    </ClientSettings>
    <ReleaseSettings>
      <EsfListenerPort>9443</EsfListenerPort>
      <UseSSL>>true</UseSSL>
    </ReleaseSettings>
    <ServerSettings>
      <ActiveDirectoryUserProperty>otherLoginWorkstations</ActiveDirectoryUserProperty>
      <ServiceAccountUsername></ServiceAccountUsername>
    </ServerSettings>
    <ADWriteSettings>
      <!-- values are {AtStartup | AtPrintTime | AtStartupAndPrintTime} -->
      <ADWriteOption>AtStartupAndPrintTime</ADWriteOption>
    </ADWriteSettings>
  </LPMServerlessADSettings>
  <LPMServerlessSettings>
    <CaptureSettings>
      <LoopbackPort>9168</LoopbackPort>
      <PrintJobFileNameFormat>%d_%i.ps</PrintJobFileNameFormat>
    </CaptureSettings>
    <ClientSettings>
      <PrintAndKeepLifespan>48</PrintAndKeepLifespan>
      <UnprintedJobsLifespan>48</UnprintedJobsLifespan>
    </ClientSettings>
    <ReleaseSettings>
      <EsfListenerPort>443</EsfListenerPort>
      <UseSSL>>true</UseSSL>
    </ReleaseSettings>
    <ServerSettings>
      <ServerIP>api.iss.lexmark.com/lpm-gateway</ServerIP>
      <ServerPort>443</ServerPort>
      <UseSSL>>true</UseSSL>
    </ServerSettings>
    <ServerAPISettings>
```

```
<APIVersion>2.0</APIVersion>
<IDPServerSettings>
  <ServerIP>idp.iss.lexmark.com</ServerIP>
  <ServerPort>443</ServerPort>
  <UseSSL>true</UseSSL>
</IDPServerSettings>
</ServerAPISettings>
</LPMServerlessSettings>
<LPMServerSettings>
  <CaptureSettings>
    <LoopbackPort>9168</LoopbackPort>
    <PrintJobFileNameFormat>%d_%i.ps</PrintJobFileNameFormat>
  </CaptureSettings>
  <ClientSettings>
  </ClientSettings>
  <ServerSettings>
    <ServerIP>lsp.lexmark.com/lexmark</ServerIP>
    <ServerPort>443</ServerPort>
  </ServerSettings>
  <IDPServerSettings>
    <ServerIP>idp.iss.lexmark.com</ServerIP>
    <ServerPort>443</ServerPort>
  </IDPServerSettings>
</LPMServerSettings>
<DeleteJobTrackerSettings>
  <TrackDeletedJob>true</TrackDeletedJob>
  <SendImmediately>true</SendImmediately>
  <IntervalMode>minutes</IntervalMode>
  <SendInterval>
    <Minutes>5</Minutes>
    <Daily>1200</Daily>
    <Daily>2300</Daily>
    <Weekly>
      <Day>2</Day>
      <Day>3</Day>
      <Day>4</Day>
      <Day>5</Day>
      <Day>6</Day>
      <Hour>1000</Hour>
      <Hour>1500</Hour>
    </Weekly>
  </SendInterval>
  <ServerSettings>
    <ServerIP>0.0.0.0</ServerIP>
    <ServerPort>9780</ServerPort>
    <ServerSSL>>false</ServerSSL>
  </ServerSettings>
  <OtherSettings>
    <SiteName></SiteName>
  </OtherSettings>
</DeleteJobTrackerSettings>
</Configuration>
```

印刷キューを作成する

- 1 コンピュータから[システム環境設定]に移動し、[プリンターとスキャナー]をクリックします。
- 2 + をクリックしてから、[追加]ウィンドウで[IP]をクリックします。
- 3 [アドレス]フィールドに「127.0.0.1:」と入力します。9167.

- 4 [プロトコル]メニューで[HP Jetdirect-Socket]を選択します。
- 5 [名前]フィールドに、印刷キューの名前を入力します。
- 6 [使用]メニューで[Lexmark Generic Laser Printer Mono]または[Lexmark Generic Laser Printer Color]を選択します。
- 7 [追加]をクリックします。

プリンタのセキュリティ設定を構成する

Active Directory を構成する

メモ:

- プリンタ機種によりこの機能が無いものもあります。
 - HTTPS を使用し、プリンタをドメインに接続する際に使用した認証資格情報を保護してください。
 - [NTP の有効化]が選択されていることを確認してください。内蔵 Web サーバーで、[設定]または[構成設定]をクリックし、[セキュリティ] > [日付と時間を設定] > [NTP の有効化]をクリックします。
- 1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。
 - 2 [設定]または[構成設定]をクリックし、[セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [Active Directory] > [Active Directory ドメインに接続]をクリックします。
 - 3 使用するドメイン名またはレルム名を入力します。
 - 4 必要な場合は、ドメインコントローラをカンマで区切って入力します。
 - 5 コンピュータをネットワークに追加する権限を持っているユーザーの認証資格情報を入力します。
メモ: パスワードは大文字と小文字が区別されますが、デバイスによってキャッシュに保存されません。
 - 6 変更を適用します。

LDAP+GSSAPI を構成する

メモ:

- この機能を使用するには、Kerberos 5 の設定を構成する必要があります。
 - 外部サーバーを利用して認証を行うときに、停電によってプリンタが認証サーバーと通信できない場合には、ユーザーは保護されたデバイス機能にアクセスできません。
 - 不正アクセスを防止するために、各セッションの終了後にプリンタからログアウトしてください。
 - [NTP の有効化]が選択されていることを確認してください。内蔵 Web サーバーで、[設定]または[構成設定]をクリックし、[セキュリティ] > [日付と時間を設定] > [NTP の有効化]をクリックします。
- 1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。
 - 2 [設定]または[構成設定メニュー]をクリックしてください。
 - 3 LDAP+GSSAPI 構成を作成します。

メモ: 最大 5 つまでの構成を保存できます。

- a [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [LDAP+GSSAPI] > [LDAP+GSSAPI 設定の追加]をクリックします。
- b 必要な構成設定を指定します。
- c 変更を適用します。

4 [セキュリティテンプレート] > [セキュリティテンプレートの追加]をクリックします。

5 LDAP セキュリティテンプレート名を入力し、LDAP+GSSAPI 用に作成するカスタムビルディングブロック名を選択します。

6 テンプレートを保存します。

LDAP+GSSAPI で使用するために Kerberos 5 を設定する

メモ: プリンタ機種によりこの機能が無いものもあります。

Kerberos 5 は、LDAP+GSSAPI ビルディングブロックと合わせて使用されます。サポート対象のデバイスに保存できる Kerberos 設定ファイル(krb5.conf)は 1 つだけですが、このファイルは複数のレルムと Kerberos ドメインコントローラ(KDC)に適用できます。

メモ:

- 使用される krb5.conf ファイルは 1 つだけであるため、簡易 Kerberos ファイルのアップロードまたは再送信を行うと、設定ファイルが上書きされます。
- krb5.conf ファイルにはデフォルトレルムを指定できます。ただし、設定ファイルでレルムが指定されていない場合は、内蔵 Web サーバーで指定されたレルムがデフォルトのレルムとして使用されます。
- krb5.conf のステータスを必ず確認してください。確認していない場合は、[設定のテスト]をクリックします。
- 外部サーバーを利用して認証を行うときに、停電によってプリンタが認証サーバーと通信できない場合には、ユーザーは保護されたデバイス機能にアクセスできません。
- 不正アクセスを防止するために、各セッションの終了後にプリンタからログアウトしてください。

1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。

2 [設定]または[構成設定メニュー]をクリックしてください。

3 Kerberos 設定ファイルを作成する

- a [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [Kerberos 5]をクリックします。
- b 必要な構成設定を指定します。
- c 変更を適用します。

4 新しい設定ファイルをインポートします。

- a [セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [Kerberos 5]をクリックします。
- b [Kerberos ファイルをインポート]セクションから、設定ファイルが保管されているフォルダを参照します。
- c 変更を適用します。

セキュリティテンプレートを割り当てる

1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。

2 [設定]または[構成設定]をクリックし、[セキュリティ] > [セキュリティ設定] > [アクセス制御]をクリックします。

3 [デバイスアプリ]または[デバイス ソリューション]をクリックします。

4 適切なセキュリティテンプレートに以下の機能を設定します。

- アプリケーション 1 またはソリューション 1 の場合、Active Directory、LDAP、または LDAP+GSSASPI を割り当てます。
- アプリケーション 2 またはソリューション 2 の場合、カード認証を割り当てます。
- プリントリリースの場合、カード認証を割り当てます。

5 変更を適用します。

プレミス環境を構成する

開始する前に、Lexmark Document Distributor (LDD) がシステムに正しくインストールされていることを確認してください。詳細については、『Lexmark Document Distributor 管理者ガイド』を参照してください。

Lexmark 管理コンソールを構成する

Lexmark Management Console にアクセスする

1 次のいずれかの URL を使用して、Web ブラウザから LMC にアクセスします。

- **http:** //ホスト名: 9780/lmc
- **https:** //hostname/lmc

hostname には、サーバーがインストールされているコンピュータのホスト名または IP アドレスが入ります。

メモ:

- サーバーを初めて起動する場合は、すべてのサービスが開始されるまで数分かかる場合があります。システム起動後すぐに LMC にアクセスできない場合は、数分たってから再度実行してください。
- LMC を使用するには、Web ブラウザの Cookie が有効になっている必要があります。
- Adobe Flash® Player 10 以降が必要です。お使いの Web ブラウザで ActiveX コントロールの実行が許可されていない場合は、Adobe の Web サイトにアクセスしてプラグインを手動でアップグレードしてください。

2 管理者のユーザー名およびパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。

メモ:

- デフォルトのユーザー名およびパスワードは、いずれも **admin** です。
- LMC が LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、有効なユーザー名およびパスワードならどれでも使用できます。

サーバーのステータスを変更する

プレミス環境では、ジョブをロードバランサからサーバーに送信するかどうかを管理者がコントロールできます。

1 Web ブラウザから LMC にアクセスし、[システム]をクリックします。

2 サーバーを選択します。

3 [オンラインに設定]または[オフラインに設定]をクリックします。

メモ: [オフラインに設定]を選択した場合でも、管理者はサーバーに接続した状態に保たれます。

お使いの環境に合わせてアプリケーション設定を構成する

メモ: 設定を変更する前に、Lexmark ヘルプデスクに変更内容が適切で必要かどうかをお問い合わせください。

ソリューションの設定は、Lexmark 統合担当者が、最初のインストール時にお使いの環境におけるニーズに合わせて構成します。ユーザーからのフィードバックやお使いの環境の構成変更に伴い設定を修正する必要がある場合は、以下を実行します。

- 1 Web ブラウザから LMC にアクセスし、[ソリューション]をクリックします。
- 2 [ソリューション]セクションで、[PrintReleasev2]をクリックします。
- 3 [タスク]セクションで、[設定]をクリックし、設定を変更します。
- 4 [適用]をクリックします。

Print Management Console を構成する

Print Management Console にアクセスする

- 1 次のいずれかの URL を使用して、Web ブラウザから Print Management Console にアクセスします。
 - **http: //ホスト名: 9780/printrelease/index.html**
 - **https: //hostname/printrelease/index.html**

hostname の部分にはロードバランサのネットワークアドレスが入ります。
- 2 管理者のユーザー名およびパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。

メモ:

- デフォルトのユーザー名およびパスワードは、いずれも **admin** です。
- Print Management Console が LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、LDAP ユーザー名およびパスワードを入力します。
- Print Management Console は Internet Explorer バージョン 6 ~ 9 のみでサポートされています。

印刷キューおよび再印刷キューを構成する

[印刷キュー]では、送信済みの印刷ジョブのうち、リリースまたは削除されていないすべての印刷ジョブを確認することができます。

[再印刷キュー]では、送信済みの印刷ジョブのうち、少なくとも 1 回はリリースされたものの削除されていないすべての印刷ジョブを確認することができます。[指定した時間の後に印刷済みジョブを削除]オプションに 0 より大きい値が指定されている場合は、一覧が表示されます。

印刷キューを表示および管理する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[印刷キュー]タブまたは[再印刷キュー]タブをクリックします。
- 2 [フィルタ]メニューで適切なデータフィールドを選択し、検索条件を設定します。
- 3 テキストフィールドに検索対象を示す用語を入力し、[フィルタを適用]をクリックします。
- 4 以下の印刷ジョブ情報が表示されます。
 - **サイト** - Print Management のサイトコードが表示されます。
 - **ユーザー** - 印刷ジョブをキューに送信した Windows® オペレーティングシステムのユーザー ID が表示されます。

- **ジョブ名** - キューにある印刷ジョブのファイル名です。
- **ページ数** - キューにある印刷ジョブのページ総数です。
- **提出日** - 印刷ジョブが送信された日時です。
- **代理人** - ジョブを印刷することが許可されているユーザーまたはグループの名前です。
- **アクション** - ジョブプロパティを確認したり、キューにあるジョブの削除、編集、代理操作、印刷などを行うことができます。

特定の印刷ジョブを表示するには、 をクリックします。

- **カラー** - ジョブを白黒(モノクロ)で印刷するかカラーで印刷するかを示します。
- **両面印刷** - ジョブを片面で印刷するか両面で印刷するかを示します。
- **ページサイズ** - キューにある印刷ジョブに設定された用紙のサイズです。

列内のアイテムを並べ替えるには、列ヘッダーをクリックします。

- ▲ - 列を昇順に並べ替えます。
- ▼ - 列を降順に並べ替えます。

印刷ジョブを委任する

- 1 一覧から印刷ジョブを探し、[アクション]列の  をクリックします。
- 2 [ジョブを委任]ダイアログで、代理人または代理人グループを割り当てます。
- 3 [OK]をクリックします。

印刷ジョブをリリースする

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[印刷キュー]または[再印刷キュー]をクリックします。
- 2 ジョブを探し、[アクション]列のプリンタアイコンをクリックします。
- 3 プリンタのアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

メモ:

- この機能を使用すると、プリンタが資格情報の認証に失敗した場合に印刷することができます。
- 複数選択機能が設定されている場合は、印刷するジョブを複数選択し、[印刷]をクリックします。複数選択は、Print Management Console の左上隅のイメージをクリックし、[キュー]タブのオプションセクションで変更すると設定できます。

代理人を管理する

代理人とは、別のユーザーの印刷ジョブをリリースすることが許可されている人物です。たとえば、管理アシスタントはエグゼクティブが送信した印刷ジョブをリリースすることができます。

特定のユーザーに関連付けられている代理人や代理人グループを表示および管理できます。特定のユーザーを代理人や複数のユーザーの代理人グループの一員に指定することもできます。ただし、各ユーザーに指定できるのはそれぞれ 1 人の代理人または 1 つの代理人グループのみです。

代理人グループを追加する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[代理人] > [代理人グループを追加]の順にクリックします。

メモ: [代理人グループを追加]ボタンが表示されていない場合は、[代理人グループを管理]をクリックします。

- 2 [代理人グループを追加]ダイアログボックスで、グループの名前を入力します。
- 3 Windows オペレーティングシステムのユーザー ID を入力したら、[追加]をクリックします。

メモ: ユーザー ID は一度に 1 つだけ追加できます。

- 4 [OK]をクリックします。

代理人を追加する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[代理人] > [代理人を追加]の順にクリックします。

メモ: [代理人を追加]ボタンが表示されていない場合は、[代理人を管理]をクリックします。

- 2 [代理人を追加]ダイアログボックスで、ユーザーの名前を入力し、以下のいずれかを設定します。
 - 代理人を追加する場合は、[シングルユーザー]を選択し、Windows オペレーティングシステムのユーザー ID を入力します。
 - グループに代理人を追加する場合は、[代理人グループ]を選択し、一覧からグループを選択します。

- 3 [既存の印刷ジョブの代理人を更新する]チェックボックスをオンにします。

メモ: チェックボックスをオフにしておくと、今後リリースされる印刷ジョブにのみ、この代理人が受け入れられます。

- 4 [OK]をクリックします。

バッジを管理する

バッジ認証を使用する場合は、ユーザーが初めてソリューションを使用するときにバッジを登録できるようソリューションを設定してください。

ソリューションに登録されたバッジを確認できます。また、バッジ情報の修正や追加を手動で行うこともできます。

バッジ ID を登録する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[バッジ] > [バッジを追加]の順にクリックします。
- 2 [バッジを追加]ダイアログボックスで、Windows オペレーティングシステムのユーザー ID とバッジ ID を入力します。

メモ: ユーザーが送信した正しい印刷ジョブを取得できるよう、バッジ ID が必ず Windows オペレーティングシステムのユーザー ID に割り当てられていることを確認します。

3 [追加]をクリックします。

一時的なバッジ ID を登録する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[バッジ] > [一時バッジ]の順をクリックします。
- 2 [一時バッジ]ダイアログボックスで、追加する一時的なバッジ ID を入力し、[追加]をクリックします。
メモ: バッジ ID は一度に 1 つだけ追加できます。
- 3 [OK]をクリックします。

機能アクセスを構成する

標準設定のユーザーの機能アクセスを管理する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[機能アクセス] > [標準設定のユーザー]の順をクリックします。
- 2 [標準設定のユーザー]ダイアログボックスで、新規ユーザーにアクセスを許可するプリンタ機能を選択し、[OK]をクリックします。

標準設定のグループの機能アクセスを管理する

Print Management Console の設定オプションで、グループの機能アクセスが有効にされていることを確認します。

- 1 [グループを管理] > [デフォルトグループ]の順をクリックします。
- 2 [デフォルトグループ]ダイアログボックスで、新規ユーザーにアクセスを許可するプリンタ機能を選択し、[OK]をクリックします。

ユーザーを追加する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[機能アクセス] > [ユーザーを追加]の順をクリックします。
- 2 [ユーザーを追加]ダイアログボックスで、Windows オペレーティングシステムのユーザー ID を入力してから、ユーザーにアクセスを許可するプリンタ機能を選択します。
メモ: グループが追加されている場合は、ユーザーのグループを選択します。
- 3 [OK]をクリックします。

数量制限を設定する

[数量制限]では、グループやユーザーに割り当てられた印刷数量制限を表示および管理できます。

数量制限を表示および管理する

数量制限は月単位または年単位で管理することができます。月単位の数量制限を使用する場合、ユーザーは毎月初日にページ数の新しい割り当てを受け取ります。前月の未使用のページ数を持ち越すことはできません。数量制限が年単位で追跡される場合、ユーザーは毎年初日にページ数の割り当てを大量に受け取ります。

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[数量制限]をクリックします。
- 2 [フィルタ]メニューで適切なデータフィールドを選択し、検索条件を設定します。
メモ: データフィールドの設定は、[数量制限表示]と[使用量表示]メニューで選択する設定によって変わります。
- 3 テキストフィールドに検索対象を示す用語を入力し、[フィルタを適用]をクリックします。
- 4 [数量制限表示]メニューで、表示するインプレッションを選択します。
 - [全数量制限(T/C)] - ユーザーが印刷またはコピーできるページ数の総合計が表示されます。
 - [数量制限合計] - ユーザーが印刷またはコピーできるページ数の合計が表示されます。
 - [カラーの数量制限] - ユーザーがカラー印刷またはカラーコピーできるページ数の合計が表示されます。
- 5 [使用量表示]メニューで、表示する期間を選択します。
 - 今月
 - 先月
 - 最近 3 か月
 - 最近 6 か月
 - 最近 12 か月
- 6 列内のアイテムを並べ替えるには、列ヘッダーをクリックします。
 - ▲ - 列を昇順に並べ替えます。
 - ▼ - 列を降順に並べ替えます。

グループを追加する

数量制限の管理はグループレベルまたはユーザーレベルで行うことができます。グループの数量制限を実施する場合、ユーザーの数量制限はユーザーの所属する Active Directory グループに基づいて定義されます。たとえば、あるグループ(マーケティングなど)のユーザーが別のグループ(ヘルプデスクなど)よりも多く印刷できるように設定できます。各グループに固有の数量制限を設定できます。ユーザーの数量制限を実施する場合、数量制限の標準設定値は登録時に全ユーザーに設定されます。管理者は必要に応じて個人の数量制限の変更を管理します。

Active Directory グループに相当するグループは手動で追加する必要があります。グループ名は Active Directory グループの名前と一致させる必要があります。

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[数量制限] > [グループの追加]の順にクリックします。
メモ: [グループの追加]ボタンが表示されていない場合は、[グループを管理]をクリックします。
- 2 [グループの追加]ダイアログボックスで、グループの名前を入力し、以下を設定します。
 - [数量制限合計] - ユーザーに許可される印刷またはコピーの合計ページ数です。
 - [カラーの数量制限] - ユーザーに許可されるカラー印刷またはカラーコピーの合計ページ数です。

メモ: ユーザーに対してユーザーとグループの数量制限が両方とも設定されている場合は、ユーザーの数量制限が優先されます。

3 [OK]をクリックします。

ユーザーをグループに追加する

ユーザーの一覧、各ユーザーの所属先のグループ、および各ユーザーの一定時間枠の印刷ページ数を表示することができます。標準設定では、合計印刷ページ数の数量制限が表示されます。数量制限の表示と時間枠は、[数量制限表示]と[使用量表示]フィルタを使用して変更することができます。

1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[数量制限] > [ユーザーを追加]の順にクリックします。

メモ: [ユーザーを追加]ボタンが表示されていない場合は、[ユーザーを管理]をクリックして現在のユーザー一覧に戻ります。

2 [ユーザーを追加]ダイアログボックスで、Windows オペレーティングシステムのユーザー ID を入力してから、ユーザーの所属先のグループを選択します。

3 [OK]をクリックします。

代替の場所を構成する

プレミス環境では、別の場所からプリンタを使用して印刷ジョブをリリースすることができます。このタブではこれらのプリンタを表示および管理できます。

ユーザーに印刷ジョブを別のプリンタにリリースすることを許可する

1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[代替の場所] > [代替の場所を追加]の順にクリックします。

2 [代替の場所を追加]ダイアログボックスで、以下を設定します。

- [リリース IP] - 印刷ジョブが送信されるプリンタの IP アドレスです。
- [代替 IP] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタの IP アドレスです。
- [代替ディスプレイ名] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタの名前です。
- [代替モデル名] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタのモデル名です。
- [代替デバイスはカラーです] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタがカラーモードで印刷するかどうかを示します。

3 [OK]をクリックします。

印刷監視デバイスを構成する

印刷ジョブを監視する

プレミス環境では、管理者は、ユーザーの印刷ジョブのうちプリンタの印刷キューに送信されないジョブをデバイスで監視することができます。ジョブは引き続き、共有の Windows オペレーティングシステムの印刷キューから印刷されますが、リリースが保留されることはなく、そのままプリンタに送られます。印刷ジョブを任意のデバイスで監視する場合、管理者は[印刷監視デバイス]タブで情報を追加する必要があります。この操作により、プリンタ情報が印刷ジョブのデータとともに保存されるようになります。この操作はオプションです。ユーザーは、設定されていないプリンタからでも印刷することができます。ただし、設定していない場合は、モデルとデバイスのタイプ(カラーまたはモノクロなど)は使用状況データに保存されません。

- 1 Print Management Console にアクセスし、[印刷監視デバイス] > [印刷監視デバイスを追加]の順にクリックします。
- 2 [印刷監視デバイスを追加]ダイアログボックスで、以下を構成します。
 - [サイト] - 印刷ジョブがリリースされるサイトです。
 - [アドレス] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタの IP アドレスです。
 - [モデル名] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタのモデル名です。
 - [モデルタイプ] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタのモデルタイプです。
 - [コメント] - 管理者がプリンタに関する情報を追加できるオプションのフィールドです。
- 3 [OK]をクリックします。

プリントリリースを設定する

アプリケーションの構成設定ページにアクセスする

- 1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。
- 2 [設定]または[構成設定メニュー]をクリックしてください。
- 3 プリンタ機種に応じて、次のいずれかを実行します。
 - [アプリ] > [アプリ管理]の順にクリックします。
 - [デバイスソリューション] > [ソリューション(eSF)]の順にクリックします。
 - [内蔵ソリューション]をクリックします。
- 4 一覧からアプリケーションを選択し、[設定する]をクリックします。

アプリケーションアイコンをカスタマイズする

- 1 Embedded Web Server からアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 ホーム画面に表示されるテキストおよび画像を指定できます。
メモ: アプリケーションによっては、プロフィールページで設定を変更することが必要になる場合があります。
- 3 変更を適用します。

ジョブの場所を設定する

サーバーレス Active Directory の設定を構成する

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [サーバーの場所の検索]セクションで、[Active Directory]を選択します。
- 3 [Active Directory 設定]セクションで、Active Directory 属性およびレルムを入力します。
- 4 サービスアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 5 使用するセキュリティモードの種類を選択します。
 - **自動** – SSL が構成された LPMC、SSL が構成されていない LPMC のいずれからでも、アプリケーションがジョブを取得できるようにします。
 - **SSL のみ** – SSL が構成された LPMC からアプリケーションがジョブを取得できるようにします。
- 6 SSL および HTTP のポート番号を入力します。
- 7 変更を適用します。

サーバーレス Web サーバーの設定を構成する

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [サーバーの場所の検索]セクションで、[Web サーバー]を選択します。
- 3 [Web サーバー設定]セクションで、Web サーバーのアドレスを入力します。
- 4 使用するセキュリティモードの種類を選択します。
 - **自動** – SSL が構成された LPMC、SSL が構成されていない LPMC のいずれからでも、アプリケーションがジョブを取得できるようにします。
 - **SSL のみ** – SSL が構成された LPMC からアプリケーションがジョブを取得できるようにします。
- 5 SSL および HTTP のポート番号を入力します。
- 6 変更を適用します。

プレミスの設定を構成する

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [サーバーの場所の検索]セクションで、[LDD Web サーバー]を選択します。
- 3 [LDD Web サーバー設定]セクションで、LDD Web サーバーのアドレスを入力します。
- 4 変更を適用します。

[SaaS]設定を構成する

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 [サーバーの場所の検索]セクションで、[LPM SaaS リリース&追跡サーバー]を選択します。
- 3 [リリース&追跡の設定]セクションで、リリース&追跡サーバーのアドレスを入力します。
- 4 [ファイルを選択]をクリックし、SSL 証明書を参照します。
- 5 変更を適用します。

アプリケーションの設定

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 以下のいずれかの手順を実行します。
 - ジョブコスト見積りを有効にし、カラーのジョブとモノクロのジョブのコストを指定します。
メモ: この機能を有効にすると、ジョブの個々のコストと、選択したジョブの総コストが表示されます。
 - ネットワークおよびソケットのタイムアウトを調整します。
 - 基本ログまたは詳細ログを有効にします。
 - [エラーページを印刷する]メニューで、印刷するエラーログを選択します。
- 3 変更を適用します。

構成ファイルをエクスポートまたはインポートする

- 1 内蔵 Web サーバーからアプリケーションの設定ページにアクセスします。
- 2 構成ファイルをエクスポートまたはインポートします。

メモ:

- JVM メモリ不足エラーが発生した場合は、構成ファイルが保存されるまで、エクスポートの手順を繰り返します。
- タイムアウトが発生し、ブランクの画面が表示される場合は、Web ブラウザを更新し、[適用]をクリックします。

アプリケーションを使用する

メモ: LPMC がオンになっていて、スリープモードまたはハイバネートモードになっていないことを確認します詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

印刷ジョブを送信する

コンピュータから印刷ジョブを送信する

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 表示されるリストで、プリントリリースに関連付けられているプリンタを選択します。
- 3 必要に応じて、設定を調整します。
- 4 ドキュメントを印刷します。

Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルから印刷ジョブを送信する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 [プリントリリース] > [マイ印刷キュー] > [ドキュメントを追加] > [ドキュメントを追加]の順にクリックします。
- 3 ファイルを選択して[開く]をクリックします。

メモ:

- コンピュータでドキュメントをクリックして、[ドキュメントを追加]ダイアログボックスにドラッグし、印刷キューに追加することもできます。
 - 一度に複数のドキュメントを追加できます。
 - キューにファイルを追加するのを止めるには、[キャンセル]をクリックします。
- 4 印刷ジョブをカスタマイズするには、ドキュメント名の横にある[+]をクリックします。
 - a 以下の印刷設定をカスタマイズします。
 - [説明] - 必要に応じて、印刷ジョブの説明を指定します。
 - [部数]-印刷する部数を指定します。
 - [両面印刷] - 両面印刷をオンにするかオフにするかを指定します。両面印刷をオンにする場合、短辺で綴じるには[短辺]、長辺で綴じるには[長辺]を選択します。
 - [カラー] - モノクロで印刷するかカラーで印刷するかを指定します。
 - [面数(片面または両面)] - 用紙の片面に印刷するページ数を指定します。
 - b [保存] > [OK]の順にクリックします。
- メモ:** 印刷ジョブを削除するには、印刷ジョブの右端にあるアップロード日の横の[X]をクリックします。
- 5 [終了]をクリックします。

印刷ジョブを管理する

メモ: LPMC がオンラインになっていること、およびその LPMC と印刷ジョブの送信先のプリンタが同じネットワーク上にあることを確認します。

1 プリンタコントロールパネルから、認証資格情報を入力します。

メモ:

- システムの構成によっては、[手順 2](#) の後に認証が実行される場合があります。
- 認証用のバッジを初めて使用する場合は、バッジを登録します。

2 プリンタのホーム画面で、[プリントリリース]をタッチします。

3 印刷ジョブを選択します。

4 [オプション]をタッチして、次の設定を調整します。

- [カラー]— 印刷ジョブをモノクロで印刷するかカラーで印刷するかを指定します。
- [印刷面(両面印刷)]— 印刷ジョブを用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
- [ホチキスジョブ]— 複数のページを含む印刷ジョブをホチキスで綴じるかどうかを指定します。
- [ホールパンチ]— 印刷ジョブの実行時に穴パンチを空けるかどうかを指定します。
- [コピー部数]— 各印刷ジョブを印刷する部数を指定します。

メモ:

- 設定を変更できるのは、遅延バインドをサポートする LPMC がインストールされているコンピューターから、選択された印刷ジョブが送信される場合のみです。詳細については、[「Lexmark 印刷管理クライアントをインストールする」](#)、[8 ページ](#) を参照してください。
- プリンタ機種により、一部の設定が無いものもあります。

5 ジョブを印刷、印刷して保持、または削除します。

メモ: プリンタの操作パネルで変更した印刷設定は保存されません。

Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルを使用する

Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスする

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドに「<http://lsp.lexmark.com/<companyID>>」と入力します。
<companyID> は、会社に割り当てられた固有の名前または ID です。

メモ: 会社で Lexmark 印刷管理 SaaS の ID フェデレーションを有効にしている場合は、自身の E メールアドレスを入力します。会社の ID 管理システムにリダイレクトされ、会社のユーザー名およびパスワードを求められます。

- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[サインイン]をクリックします。

メモ: 通常、Web ポータルのユーザー名には、ユーザーの E メールアドレスが使用されます。

パスワードを変更する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 [パスワード再設定を要求する]をクリックします。
- 3 [パスワード再設定]ページで、ユーザー名を入力し、確認のためにもう一度ユーザー名を入力します。
- 4 [パスワード再設定を要求する] > [OK]の順にクリックします。

パスワード再設定の手順が記載された E メールが、ユーザーの E メールアドレスに送信されます。

印刷キューを表示および管理する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[プリントリリース]上にマウスポインタを移動し、[マイ印刷キュー]をクリックします。
- 3 以下の印刷ジョブ情報が表示されます。
 - [ドキュメント] - キューにある印刷ジョブのファイル名が表示されます。
 - [説明] - 印刷ジョブについて追加した情報が表示されます(ある場合)。
 - [ステータス] - 印刷ジョブがリリースできる状態かどうかが表示されます。印刷ジョブのステータスは、「準備完了」、「処理中」、「プリンタドライバを使用して再送信してください」、「対応していないファイルの種類」のいずれかです。
 - [ソース] - 印刷ジョブがサーバーに送信された方法がアイコンで表示されます。方法には、Web 経由、E メール経由、携帯デバイス経由、コンピュータ経由があります。
 - [アップロード日] - 印刷ジョブが送信された日時が表示されます。
- 4 以下のいずれかの手順を実行します。
 - 印刷キューを追加するには、[ドキュメントを追加] > [ドキュメントを追加]の順にクリックします。ファイルを選択し、[開く] > [完了]の順にクリックします。

メモ:

- コンピュータでドキュメントをクリックして、[ドキュメントを追加]ダイアログボックスにドラッグし、印刷キューに追加することもできます。

- 一度に複数のドキュメントを追加できます。
- 各印刷ジョブの設定を変更するには、変更する印刷ジョブの左隅にある[+]をクリックし、[保存]をクリックします。
- 印刷キュー内のファイルをダウンロードするには、[ダウンロード]をクリックします。
- 印刷キューをカスタマイズするには、列のヘッダー上にマウスポインタを移動し、▼ をクリックして、ドロップダウンメニューを表示させます。
- 列で項目をソートするには、[昇順]または[降順]を選択します。
- 列を追加または削除するには、[列]を選択し、列の名前の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

印刷ジョブを削除する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[プリントリリース]上にマウスポインタを移動し、[マイ印刷キュー]をクリックします。
- 3 削除する印刷ジョブを選択し、[X]をクリックします。

印刷代理人を追加する

管理者によって許可されている場合、自分の印刷代理人を設定および編集することができます。印刷代理人とは、本人の代わりに印刷することを許可されたユーザーです。

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[プリントリリース]上にマウスポインタを移動し、[委任] > [代理人を追加]の順にクリックします。
- 3 [ユーザー名]列で、印刷ジョブの委任先ユーザーの名前を入力するか選択して、[追加]をクリックします。

メモ: 印刷代理人を削除するには、代理人のユーザー名の名前の横にあるチェックボックスを 1 つまたは複数選択し、[代理人を削除]をクリックします。

印刷の標準設定を変更する

印刷の標準設定は、プリンタソフトウェアを経由しない送信元から送信された印刷ジョブに適用されます。これらのジョブは、Web ポータルまたは E メール経由で送信されたジョブです。

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 画面の右上隅にある歯車のアイコンをクリックします。
- 3 [印刷設定]セクションで、以下をカスタマイズします。
 - [両面印刷] - 両面印刷をオンにするかオフにするかを指定します。両面印刷をオンにする場合、短辺で綴じるには[短辺]、長辺で綴じるには[長辺]を選択します。
 - [カラー] - モノクロで印刷するかカラーで印刷するかを指定します。
 - [部数] - 印刷する部数を指定します。
 - [面数(片面または両面)] - 用紙の片面に印刷するページ数を指定します。
- 4 [保存]をクリックします。

数量制限について

プリントリリースキューを参照すると、ユーザーのモノクロおよびカラーのジョブの数量制限が表示されます。隣に数字が付いた 1 つまたは 2 つのアイコンが表示されます。

-  アイコンの隣の数字は、管理者に指定された、ユーザーが印刷またはコピーできる(モノクロとカラー両方)のページの合計数です。この数字が、数量制限合計を示します。
-  アイコンの隣の数字は、管理者に指定された、ユーザーが印刷またはコピーできるカラーページの数です。この数字が、カラーの数量制限を示します。

カラーの数量制限は、数量制限合計のサブセットです。カラーの印刷/コピーのジョブでは、カラーの数量制限と数量制限合計の両方で残高が減ります。モノクロの印刷/コピーのジョブでは、数量制限合計の残高がカラーの数量制限の残高より低くなるまで、数量制限合計の残高のみが減ります。数量制限合計の残高がカラーの数量制限の残高より低くなると、カラーの数量制限の残高は、数量制限合計の残高に一致するように自動的に削減されます。

印刷/コピーのジョブをプリントリリースキューから選択するときは、各ジョブのページ数に注意してください。選択したジョブすべての合計ページ数がユーザーの数量制限を超過した場合、そのユーザーは印刷/コピーを実行することはできません。印刷/コピーを実行しようとする、ユーザーの要求を完了するために必要な数量の割り当てが残っていない旨のメッセージがプリンタの画面に表示されます。

メモ:

- プリンタでカラー印刷がサポートされていない場合や、カラーの印刷/コピーが無効になっている場合は、数量制限合計のアイコンのみが表示されます。
- カラーの数量制限のみが設定されている場合は、カラーの数量制限のアイコンのみが表示されます。
- 数量制限機能が無効になっている場合、または数量制限合計とカラーの数量制限の両方が設定されていない場合は、数量制限のアイコンは表示されません。

ジョブ概要を表示する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[マイ印刷ジョブ]をクリックします。
- 3 以下の印刷ジョブ情報が表示されます。

- [表示するジョブ] - ページに表示するジョブの数です。
- [総部数] - 印刷されたすべての印刷ジョブのページ合計数です。

メモ: インプレッションとは、1 枚の用紙の片面のことを指します。1 枚の用紙の片面に複数のページが印刷されている場合、1 つのジョブのインプレッションの総合計が変わります。たとえば、1 枚の用紙の片面に元の原稿の 2 ページが印刷された場合、1 インプレッションと計算されます。

- [部数] - 印刷された印刷ジョブのページ数です。
- [デバイスの IP アドレス] - ジョブがリリースされたプリンタの IP アドレスです。
- [ジョブ名] - 印刷ジョブのファイル名です。
- [カラー] - ジョブがモノクロで印刷されたかカラーで印刷されたかを示します。
- [両面印刷] - ジョブが用紙の両面に印刷されたかどうかを示します。
- [印刷時間] - ジョブがプリンタでリリースされた時刻を示します。

- 4 ジョブの列をカスタマイズするには、列のヘッダー上にマウスポインタを移動し、▼ をクリックして、ドロップダウンメニューを表示させます。
 - 列で項目をソートするには、[昇順]または[降順]を選択します。
 - 列を追加または削除するには、[列]を選択し、列の名前の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

個人用ジョブレポートを生成する

- 1 Web ブラウザから Lexmark 印刷管理 SaaS Web ポータルにアクセスします。
- 2 上部のナビゲーションバーで、[ドキュメントアカウント]上にマウスポインタを移動し、[レポート] > [マイドキュメントアカウント概要レポート]の順にクリックします。
- 3 レポートに含めたい印刷アクティビティの開始日と終了日を指定して、[レポートを生成]をクリックします。

メモ:

- 開始日と終了日の間が 90 日以上開かないようにしてください。
- ジョブは、開始日の午前 0 時から終了日の午前 0 時まで実行されたものが計算されます。1 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日と終了日を同じ日に指定しないようにしてください。たとえば、2016 年 6 月 16 日に実行されたジョブのレポートを表示するには、開始日を「2016/06/16」、終了日を「2016/06/17」に指定します。この設定により、6 月 16 日の午前 0 時から 17 日の午前 0 時までのジョブがレポートに含まれるようになります。

- 4 [PDF をダウンロード]をクリックします。

生成されたレポートの概要

- **合計** – ジョブを送信またはリリースしたユーザーの合計数、および送信またはリリースされたジョブの合計数が表示されます。また、接続されたデバイスで指定された期間内において、印刷またはコピーされたインプレッションの合計数も表示されます。
- **ジョブ送信** – プリンタドライバ、E メール、Web ポータル、および携帯デバイスの各手段経由で送信されたジョブの印刷済みインプレッションの合計数が表示されます。
- **デバイス使用量** – 接続されたデバイスで、コピー（モノクロおよびカラー）、スキャン、E メール、FAX、FTP、およびその他のジョブの実行により印刷されたインプレッションの合計数が表示されます。
- **プリントリリース使用量** – 接続されたデバイスでリリースされた印刷ジョブのモノクロおよびカラーのインプレッションの合計数が表示されます。
- **印刷済み部数対削除済み部数** – 送信後に印刷されたジョブのインプレッションの合計数と、送信後に印刷されずにキューから削除されたジョブのインプレッションの合計数が比較されます。

問題に対処する

アプリケーションエラー

次の手順を 1 つ以上実行します。

システムログを確認する

- 1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。
- 2 [設定]または[構成設定メニュー]をクリックしてください。
- 3 プリンタ機種に応じて、次のいずれかを実行します。
 - [アプリ] > [アプリ管理]の順にクリックします。
 - [デバイスソリューション] > [ソリューション(eSF)]の順にクリックします。
 - [内蔵ソリューション]をクリックします。
- 4 [システム] > [ログ]の順にクリックします。
- 5 ログエントリを表示するための適切なフィルタを選択して送信します。
- 6 ログを分析し、問題を解決します。

LPMC ログを確認する

LPMC 構成ファイル内の Logger 要素を変更することによって、LPMC イベントのログ記録を有効にすることができます。

Windows オペレーティングシステムの場合

```
<Logger>
  <LogFilePath>C:\ProgramData\LPMC\lpmc.log</LogFilePath>
  <LoggingEnabled>>true</LoggingEnabled>
</Logger>
```

メモ: 詳細については、[「Windows オペレーティングシステム用の設定ファイルを理解する」](#)、9 ページを参照してください。

Mac オペレーティングシステムの場合

```
<Logger>
  <LogFilePath>/var/tmp/lpmc.log</LogFilePath>
  <LoggingEnabled>>true</LoggingEnabled>
</Logger>
```

メモ: 詳細については、[「Mac オペレーティングシステムの設定ファイルを理解する」](#)、17 ページを参照してください。

- ログ記録を有効にするには LoggingEnabled の値を **true** にします。より詳細なログを記録するにはこの値を **debug** にします。
- ログファイルを参照するには、LogFilePath で指定されたフォルダに移動します。ログを分析し、問題を解決します。

メモ: LoggingEnabled の値を `false` に設定するとログ記録はオフになりますが、一部の重大なエラーは記録されます。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

ライセンスエラー

以下の方法をいくつか試してください。

アプリケーションのライセンスが取得されていることを確認する

ライセンス購入の詳細については、Lexmark までお問い合わせください。

ライセンスが最新であることを確認する

- 1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。
- 2 [設定]または[構成設定]をクリックします。
- 3 プリンタ機種に応じて、次のいずれかを実行します。
 - [アプリ] > [アプリ管理]の順にクリックします。
 - [デバイスソリューション] > [ソリューション(eSF)]の順にクリックします。
 - [内蔵ソリューション]をクリックします。
- 4 リストからアプリケーションのライセンスステータスをクリックします。
- 5 ライセンスを更新します。

サーバーレスのトラブルシューティング

ジョブがプリントリリースキューに表示されない

次の手順を 1 つ以上実行します。

印刷ジョブをプリントキューに送信したことを確認します

印刷ジョブを送信するときに使用したユーザーアカウントが、プリントリリース対応のプリンタにログインしているアカウントと同じであることを確認します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

LPM サーバーレスプリントリリースが、印刷ジョブの送信先のプリンタにインストールされていることを確認します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コンピュータとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Active Directory 属性の読み取りおよび書き込み権限がユーザーに付与されていることを確認します

詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

ファイアウォールの例外を LPMC ポートに追加します

ファイアウォールが、プリンタとワークステーション間の通信をブロックしている場合があります。Windows オペレーティングシステムを使用しているワークステーションに対して、Windows 用以外のファイアウォールを使用した場合、または Mac オペレーティングシステムを使用しているワークステーションに対して、Mac 用以外のファイアウォールを使用した場合に、このようなブロックが発生します。LPMC のデフォルトポートは 9443 です。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

LPMC がインストールされているコンピューターへのアクセス権がユーザーに付与されていることを確認します

メモ: 次の手順は、Windows オペレーティングシステムユーザーに対してのみ適用可能です。

- 1 LPMC がインストールされているコンピューターから管理者としてコマンドプロンプトを実行し、「`secpol.msc`」と入力します。
- 2 [セキュリティ設定]メニューで、[ローカルポリシー] > [ユーザー権利の割り当て] > [ネットワーク経由でコンピューターへアクセス]をクリックします。
- 3 セキュリティポリシーをデフォルト値に設定するか、ユーザーまたはグループをポリシーに手動で追加します。
メモ: ドメイングループポリシーによってセキュリティポリシーが管理されている場合、ドメイングループポリシーレベルでセキュリティポリシーを追加します。そのようにしないと、次にグループポリシーが変更されるときにこの変更が上書きされます。
- 4 [適用]をクリックします。

ジョブを取得できない

次の手順を 1 つ以上実行します。

Active Directory からのアカウントが otherLoginWorkstations 属性に対する書き込み権限を持っていることを確認します

詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

プリンタで使用されているプロキシの設定を削除します

詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

LPMC とプリンタが同じネットワークに接続していることを確認します

詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

LPMC がスリープモードまたはハイバネートモードになっていないことを確認します

詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

プリンタカラー印刷情報を送信しているユーザーが LPMC にログインしているユーザーと同じユーザーであることを確認します

詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

プリンタでプリントリリースにアクセスするときに、Lexmark プリントキャプチャサービスと Lexmark プリントリリースサービスが実行されていることを確認します

カードを使用するログイン方式を使用するときに、Active Directory および LPMC で管理者権限を持っているユーザー アカウントを使用したことを確認します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

NTP が有効になっていることを確認します

- 1 Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションで IP アドレスを確認します。
- 2 [設定]または[構成設定]をクリックし、[セキュリティ] > [日付と時間を設定]をクリックします。
- 3 [NTP の有効化]を選択します。
- 4 [適用]をクリックします。

認証機関用に作成されたパスワードが正しいことを確認します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

カード認証およびプリントリリース用に設定されたサービスアカウントのユーザー名が LPMC 設定ファイル内のユーザー名と一致していることを確認します

カード認証の詳細については、『カード認証管理者ガイド』を参照してください。

LPMC の構成の詳細については、[「Lexmark 印刷管理クライアントをインストールする」](#)、8 ページを参照してください。

[プリントリリース]で設定されている HTTP または SSL ポートが LPMC 構成ファイルで設定されているポートに一致していることを確認します

詳細については、[「Windows オペレーティングシステム用の設定ファイルを理解する」](#)、9 ページを参照してください。

LPMC がインストールされているコンピュータへのアクセス権がユーザーに付与されていることを確認します

- 1 LPMC がインストールされているコンピュータから管理者としてコマンドプロンプトを実行し、「`secpol.msc`」と入力します。
- 2 [セキュリティ設定]メニューで、[ローカルポリシー] > [ユーザー権利の割り当て] > [ネットワーク経由でコンピュータへアクセス]をクリックします。
- 3 セキュリティポリシーをデフォルト値に設定するか、ユーザーまたはグループをポリシーに手動で追加します。
メモ: ドメイングループポリシーの設定でポリシーを管理する場合は、ドメイングループポリシーレベルでそれらを追加します。そのようにしないと、次にグループポリシーが変更されるときにこの変更が上書きされます。
- 4 [適用]をクリックします。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

印刷ジョブの読み込みに時間がかかる

次の手順を 1 つ以上実行します。

印刷ジョブを含むワークステーションの電源がオンであることを確認する

電源がオフのワークステーションにアプリケーションが接続しようとしている場合があります。アプリケーションは 3 回タイムアウトが発生するまで待ってから、ワークステーションへの接続を停止します。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

ジョブの印刷が終了しない

次の手順を 1 つ以上実行します。

プリンタがネットワークに接続されていることを確認する

もう一度印刷ジョブをリリースする

Mac ワークステーションの使用時に LPMC に接続できない

次の手順を 1 つ以上実行します。

ネットワークに接続されているコンピュータに、ユーザーがログインしているかどうか確認する

一部の Mac コンピュータは、電源オン前およびユーザーのログイン後は、ネットワークに接続できません。ネットワーク接続は、LPMC に接続されている必要があります。

Lexmark 担当者へのお問い合わせ

プレミスのトラブルシューティング

LMC を使用して新しいデバイスを追加できない

プリンタに十分なライセンスがあることを確認する

- 1 LMC で、[システム] タブをクリックし、[ライセンス] を選択します。
- 2 プリンタのライセンスがサーバーに追加されており、有効期限が切れていないかどうかを確認します。

メモ: ライセンスをご購入でない場合や、ライセンスの有効期限が切れている場合は、Lexmark テクニカルプログラムマネージャにお問い合わせください。

ユーザーがリリースした印刷ジョブが印刷キューに表示されない

Lexmark ユニバーサルプリンタドライバがインストールされていることと、ポートが Management Console サーバーに設定されていることを確認する

詳細については、Lexmark ヘルプデスクにお問い合わせください。

ドキュメント名とユーザー ID が正しいことと、印刷時にユーザーが別のユーザー ID を使ってログインしていなかったかどうかを確認する

(⇒ [「印刷キューを表示および管理する」](#)、27 ページ)

バッジ ID が正しいユーザー ID に登録されていることを確認する

(⇒ [「バッジ ID を登録する」](#)、29 ページ)

SaaS のトラブルシューティング

SaaS 印刷ジョブがプリントリリースキューに表示されない

SaaS リリース & 追跡サーバーにアクセスできることを確認します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

カード認証のカード検証が ID サービスに設定されていることを確認します

詳細については、『カード認証管理者ガイド』を参照してください。

ソリューションプロバイダに問い合わせる

上記の手順を実行しても問題を解決できない場合は、ソリューションプロバイダにお問い合わせください。

ジョブを取得できない

次の手順を 1 つ以上実行します。

SaaS リリース & 追跡サーバーにアクセスできることを確認します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

プリンタで使用されているプロキシの設定を削除します

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ソリューションプロバイダに問い合わせる

上記の手順を実行しても問題を解決できない場合は、ソリューションプロバイダにお問い合わせください。

通知

版通知

2016 年 11 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、<http://www.lexmark.com> を参照してください。

© 2016 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Adobe Flash Player および PCL は、アメリカ合衆国およびその他の国々における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Active Directory、および ActiveX は、米国およびその他の国々での Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

索引

アルファベット

Active Directory
 権限を付与する 7
 設定 23
 セットアップ 7
 属性を作成する 7
Active Directory スキーマ
 作成 7
Active Directory ドメイン
 接続 16
Active Directory ドメインに接続する 16
Kerberos 5
 設定 24
LDAP+GSSAPI 認証
 設定 23
LDD Web サーバー 35
Lexmark 印刷管理 SaaS
 アクセス 39
Lexmark 印刷管理クライアント
 設置 8, 17
 設定 8, 17
Lexmark 管理コンソール
 アクセス 26
Mac の設定ファイル
 理解 17
Mac の設定ファイル例 17
Mac ワークステーションの使用時に LPMC に接続できない 47
Print Management Console
 アクセス 27
SaaS
 印刷ジョブを送信する 37
SaaS 印刷ジョブがプリントリリースキューに表示されない
 問題に対処する 48
SaaS での印刷ジョブ
 削除 40
SaaS での代理人
 追加 29
SaaS の設定
 設定 35
Windows の設定ファイル
 理解 9
Windows の設定ファイル例 9

あ行

アクセス
 Lexmark 印刷管理 SaaS 39
 Lexmark 管理コンソール 26
アクセスする、Print Management Console 27
アクセスする、設定ページ 34
アプリケーションアイコン
 カスタマイズ 34
アプリケーションエラー 43
アプリケーション設定
 設定 26
アプリケーションの設定 35
アプリケーションの設定ページ
 アクセス 34
一時的なバッジ ID
 追加 30
委任する、印刷ジョブ 27
印刷キュー
 作成 22, 15
 表示および管理する 39
印刷キューの作成 15
印刷キューを作成する 22
印刷ジョブ
 SaaS から送信する 37
 監視する 33
 送信する 37
 リリースする、別のプリンタに 32
印刷ジョブの読み込みに時間がかかる 47
印刷ジョブを監視する 33
印刷ジョブを送信する 37
印刷数量制限 41
印刷設定
 標準設定を変更する 40
印刷代理人
 追加 40
 取り外し 40
印刷の標準設定 40
インストールする、Lexmark 印刷管理クライアント 8, 17
インポートする、設定ファイル 36
エクスポートする、設定ファイル 36

か行

概要 4
カスタマイズする、アプリケーションアイコン 34

カラーの数量制限 41
管理する
 印刷キュー 39
 数量制限 31
 標準設定のグループの機能アクセス 30
 標準設定のユーザーの機能アクセス 30
管理する、印刷キュー 27
許可する、ユーザーが別のプリンタに印刷ジョブをリリース 32
グループ
 追加 31
 追加する、ユーザー 32
グループの数量制限
 設定 31, 32
構成する、Lexmark 印刷管理クライアント 8, 17
個人のジョブレポート
 生成 42
個人のジョブレポートを生成する 42

さ行

削除
 SaaS での印刷ジョブ 40
 プリンタ内の印刷ジョブ 38
作成する、Active Directory スキーマ 7
サーバー、ステータス
 変更 26
サーバーレス Active Directory
 設定 34
サーバーレス Web サーバー
 設定 35
ジョブ概要
 表示 41
ジョブがプリントリリースキューに表示されない 44
ジョブの印刷が終了しない 47
ジョブレポート 42
ジョブを取得できない 45, 48
数量制限 41
管理する 31
表示 31
数量制限合計 41
セキュリティテンプレート
 カード認証を割り当てる 25

- 内部アカウント用に割り当てる 25
- プリントリリース用に割り当てる 25
- セキュリティテンプレートを割り当てる 25
- 設置
 - プリントドライバ 15
- 設定
 - Active Directory 23
 - Kerberos 5 24
 - LDAP+GSSAPI 認証 23
 - SaaS の設定 35
 - アプリケーション設定 26
 - 印刷済みエラーログ 35
 - 基本ログまたは詳細ログ 35
 - グループの数量制限 31, 32
 - サーバーレス Active Directory 34
 - サーバーレス Web サーバー 35
 - ジョブコスト見積り 35
 - ネットワークおよびソケットのタイムアウト 35
 - プレミスの設定 35
- 設定ファイル
 - エクスポートまたはインポート 36
- セットアップする、Active Directory 7

た行

- 代理人
 - 印刷ジョブ 40
- 代理人グループ
 - 追加 29
- チェックリスト
 - 展開の準備状況 5
- 追加
 - SaaS での代理人 29
 - 一時的なバッジ ID 30
 - 印刷キュー 39
 - 印刷代理人 40
 - [機能アクセス]を使用してユーザー 30
 - [機能アクセス]を使用してユーザーをグループに 30
 - グループ 31
 - 代理人グループ 29
 - ユーザーをグループに 32
- 追加できない、LMC を使用して新しいデバイスを問題に対処する 47
- 展開の準備状況チェックリスト 5

- 登録する、バッジ ID 29
- 取り外し
 - 印刷代理人 40

は行

- パスワード
 - 変更 39
- バッジ ID
 - 登録 29
- 表示
 - 印刷キュー 39
 - ジョブ概要 41
 - 数量制限 31
- 表示および管理する、印刷キュー 27
- 表示する、印刷キュー 27
- 標準設定の機能アクセス
 - 管理する、グループ 30
 - 管理する、ユーザー 30
- プリンタ内の印刷ジョブ
 - 削除 38
 - リリースする 38
- プリントドライバ
 - 設置 15, 16
- プリントドライバをインストールする 16
- プレミスでの印刷ジョブ
 - リリースする 28
- プレミスの設定
 - 設定 35
- 変更
 - 印刷の標準設定 40
 - サーバー、ステータス 26
 - パスワード 39
- ホーム画面アイコン
 - カスタマイズ 34

ま行

- 問題に対処する
 - Mac ワークステーションの使用時に LPMC に接続できない 47
 - SaaS 印刷ジョブがプリントリリースキューに表示されない 48
 - アプリケーションエラー 43
 - 印刷ジョブの読み込みに時間がかかる 47
 - ジョブがプリントリリースキューに表示されない 44
 - ジョブの印刷が終了しない 47
 - ジョブを取得できない 45, 48

- 追加できない、LMC を使用して新しいデバイスを 47
- ユーザーがリリースした印刷ジョブが印刷キューに表示されない 48
- ライセンスエラー 44

や行

- ユーザー
 - [機能アクセス]を使用して追加する 30
- ユーザーがリリースした印刷ジョブが印刷キューに表示されない問題に対処する 48

ら行

- ライセンスエラー 44
- リリース&追跡サーバー 35
- リリースする
 - 印刷ジョブを別のプリンタに 32
 - プリンタ内の印刷ジョブ 38
 - プレミスでの印刷ジョブ 28